

本艦搭載機ノ戦闘經過  
一 號機行動概要

〇二五	〇二四	〇二三	〇一九	〇一七	月
		電上飛曹 丸山由之利 偵大 尉 神崎壽秀 操飛曹長 松村貞義	電上飛曹 丸山由之利 偵上飛曹 松井貞造 操飛曹長 松村貞義	電一飛曹 伊藤 悟 偵大 尉 神崎壽秀 操上飛曹 鈴木精進	搭乗員(印機長)
二七〇〇一四〇〇	一七〇〇一〇〇〇	〇七〇〇一〇九〇〇	一七五〇一四〇〇	一四五一六一五	發(着)時刻
YB 對潛直衛	YB 對潛直衛	YB 對潛直衛	YB 對潛直衛	YB 對潛直衛	任務茲行動
任務終了後、カハコ基地着	任務終了後、カハコ基地着	任務終了後、カハコ基地着	任務終了後、カハコ基地着	任務終了後、カハコ基地着	記 事

月	日	搭乗員(○印機長)	機	要	時刻	任務	記
○二六					○五五〇一〇九〇〇 一三三〇一五〇〇	YB 對潛艇(航路制壓) 要務飛行	任務終了後、カタカオ基地着
○二七					五四五一〇七三〇 〇七五一〇八一五 〇八四〇一〇九五〇	要務飛行 要務飛行 要務飛行	カタカオ基地「カンホセ」基地 「カンホセ」基地「カタカオ」基地 「マンシロック」基地「カタカオ」基地
○二八					二二〇一七二〇 〇六五〇一〇一〇 一七一五一〇九〇〇	基礎移動兼對潛制壓 YB 前路警戒 YB 對潛直衛	カタカオ基地「カタカオ」基地 於「ラブア」基地
○二九					〇八〇〇一〇八一五 〇八四五一〇九〇〇 〇九一五一〇〇五	要務飛行 要務飛行 要務飛行	「ラブア」基地「大和」 大和「ラブア」基地
○二三					一八〇一〇九〇〇 一一〇〇一五四〇	YB 對潛直衛	「射出發艦」 「カンホセ」基地ニ先行 「パラワン」ニ避退
○二〇					〇六四五一二〇〇	YB 對潛直衛	「ラブア」基地先行
○二〇						機長 鈴木精進 機員 伊藤悟	

一〇、二七	一〇、二六	一〇、二五	一〇、二四
-------	-------	-------	-------

。操上飛曹 秋葉源五郎  
偵上飛曹 堀田田次郎  
電一飛曹 伊藤 悟

一〇、二七	一〇、二六	一〇、二五	一〇、二四
〇七四〇。一〇八五。 二二、〇一七三五	一〇三七。一八三。	〇六三八。一〇七五三 〇八一。九一。一〇六	一五〇〇。一五四〇。 八、〇一三三。
カチカチ基地ヨリコトアツキ移動 個所ノ整備完了カチ 備員ニテ發動機不調 カチカチ基地ニテ直ニ整 備員ニテ發動機不調 カチカチ基地ヨリコトアツキ移動	發動機不調ノマ、コラ ワシニ向フ八五。頃應 急修理終了	隊ニ連絡センモ要且ハナリ 出岸ニシテアゲタリ、飛行機ハ ニ不時着ス、陸軍警備 ヲ求メツ引返シ(計器 九七ドレ)一。六。六。六。 トナリ、海面ノ平穩ナル所 ヲ求メツ引返シ(計器 九七ドレ)一。六。六。六。 。九五七。再ビ發動機不調 線ニテ行フ。八一九。後進 少直ニ應急修理(安全 線ニテ行フ)。八一九。後進 。九五七。再ビ發動機不調 トナリ、海面ノ平穩ナル所 ヲ求メツ引返シ(計器 九七ドレ)一。六。六。六。 ニ不時着ス、陸軍警備 隊ニ連絡センモ要且ハナリ 出岸ニシテアゲタリ、飛行機ハ	カチカチ基地ノ東方 海面、向テ敵ニ向フ 。敵、海面附近、天候 不良(スコール)
カチカチ基地ノ東方 海面、向テ敵ニ向フ 。敵、海面附近、天候 不良(スコール)	カチカチ基地ノ東方 海面、向テ敵ニ向フ 。敵、海面附近、天候 不良(スコール)	カチカチ基地ノ東方 海面、向テ敵ニ向フ 。敵、海面附近、天候 不良(スコール)	カチカチ基地ノ東方 海面、向テ敵ニ向フ 。敵、海面附近、天候 不良(スコール)

△ 妙	妙 高	發信艦所	着信艦所	受信時刻	信	文	信號法
SS	本			八日二〇五 （四三八）	×キヨキ×ネヒ一〇四 ×ツ×一五〇（一四〇〇東通受信状態不良貴艦人狀況知ラサレ度		手旗
				九日一〇〇	×サヨ× 第二任務ニ関シ左ノ通定メラル		
					一、任務終了後ヲヒ三六併用 二、着電ヲ打タス		

- 一) 作戰ニ影響セシ事項  
特ニナシ
- 二) 行動圖及令戰圖  
(別圖第一及第二)
- 三) 令達報告及通報
- 四) 無線ノ部  
特ニナシ (五戰隊司令部ノモノ参照)
- 五) 信號ノ部  
一) 受信

一〇二九	一〇二八	〇六三〇一〇五	一七〇五一九〇〇	〇八二五一〇八四五	YB 前路警戒	YB 對潛直衛	YB 艦揚收	ヲアマシ基地ヨリ發 任務終了後ヲアマシ 基地
------	------	---------	----------	-----------	---------	---------	--------	------------------------------

△大和 艦	妙高 艦	早霧 艦	△大和 艦	△妙高 艦	妙高 艦	A 妙高 艦	妙高 艦
〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃 電鍵音聞ユルヤ 第三。操敵序列ニ占位セヨ 針路ニ五度、N、五科	〃〃〃〃〃〃 一〇九五 一〇一六 一〇一七 ニ〇度方向ニ飛行機見ユ XキヨキXネヒニ四五尺 ネザニニ七八尺	〃〃〃〃〃〃 一〇九五 一〇一六 一〇一七 八〇度方向五科ニ潜水艦見ユ 飛行機ニ乃至五機見ユ	〃〃〃〃〃〃 一〇九五 一〇一六 一〇一七 第七五度方向ニ潜水艦見ユ 第二三號、航行序列ニ占位セヨ	〃〃〃〃〃〃 一〇九五 一〇一六 一〇一七 テハ如何 XキヨキXネヒニ九四尺 ネザニニ五二三尺 XキヨキXニ番艦、場合基準射角ニ番艦射角ヲ以テ示ス事トシ	〃〃〃〃〃〃 一〇九五 一〇一六 一〇一七 XキヨキXネヒニ三三三三尺 ネザニ九八八八尺 XキヨキXネヒニ五九八尺 ネザニ五七二尺	〃〃〃〃〃〃 一〇九五 一〇一六 一〇一七 左舷射出ノ予定 〃〃〃〃〃〃 〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃 一〇九五 一〇一六 一〇一七 XキヨキXネヒニ三八八尺 ネザニ二二二尺
旗旗 哨信儀	旗旗 哨信儀	旗旗 哨信儀	旗旗 哨信儀	旗旗 哨信儀	旗旗 哨信儀	旗旗 哨信儀	旗旗 哨信儀

大和	一部隊	四〇七五	第三五接敵序列ニ占位セヨ	旗
大和	艦	〇八〇二	一五〇度方向ニ飛行機ニ乃至五機見ユ	旗
〃	〃	〇八一〇	一〇度方向ニ上料ニ敵飛行機見ユ	〃
〃	〃	〇八二九	五〇度方向ニ飛行機ニ乃至五機見ユ	〃
能代	〃	〇九五五	九〇度方向ニ潜水艦見ユ	〃
武藏	〃	一〇三二	〇度方向ニ雷跡見ユ	〃
大和	〃	一〇三二	三九〇度方向ニ雷跡見ユ	〃
妙高	〃	一〇四〇	我機関故障	〃
利根	〃	一三二二	四〇度方向ニ潜水艦見ユ	〃
大和	〃	一二二六	速ニ所定ノ位置ニ就ケ	〃
長門	〃	一三〇三	二七〇度方向ニ上料ニ飛行機見ユ	〃
海軍	〃	一三四九	一〇〇度方向ニ飛行機見ユ	〃
大和	〃	一五一二	二〇〇度方向ニ飛行機ニ十数機見ユ	〃
鳥海	〃	一七四〇	二〇〇度方向ニ小型艦上機六乃至九機見ユ	〃
大和	〃	一九五三	先頭隊御導セヨ第一部隊第二四五機飛行序列ニ占位セヨ	哨機
〃	〃	一九五四	第二九五機飛行序列ニ占位セヨ	〃
鳥海	〃	三二〇六	四〇度方向ニ小型艦上機見ユ	旗
和	〃	〇六四六	最大戦速即時待機卜ナセ	旗

利根	〆大和	大和	金剛	大和	長門	大和	〆大和	大和	早霜	金剛	〆大和	鳥海	〆	〆	
本	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	
〆二〇一	〆八〇六四二	三月九三六	〆一七三〇	〆一六四五	〆一四七	〆一〇三七	〆六〇九九	〆一〇七	〆一四四八	〆一三〇五	〆一〇一四	〆〇八三二	〆〇六五九		
鎔接用酸素一。本御領ヒス	第五一警戒航行序列別法ニ占位セヨ	第五一警戒航行序列ニ占位セヨ	一三〇度方向遠距離ニ潜水艦見ユ	二五〇度方向ニ飛行機見ユ	二四〇度方向ニ陸上大型機、小型艦上機見ユ	二二〇度方向ニ飛行機二十数機見ユ	第三〇警戒航行序列ニ占位セヨ	二三〇度ニ斜ニ陸上大型機見ユ	三〇〇度方向ニ飛行機二乃至五機見ユ	我機因故障	八〇度方向ニ小型艦上機見ユ	第三〇警戒航行序列ニ占位セヨ斜路ノ速度力ニ十二節	二七〇度方向ニ水上艦艇見ユ	第十戦闘序列ニ占位セヨ	
方向灯	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	

<p>金剛本</p>	<p>三〇二五</p>	<p>×カヨカ×酸素一〇本御願ヒス</p>	<p>方向灯</p>
<p>高 雄</p>	<p>三〇二五</p>	<p>YB信令特一四ニヨル各種補完彈藥塔載補給數量×シラ× 貴夕十回×ハ×使用量ニ本</p>	<p>〃</p>
<p>雪 風</p>	<p>〇三〇〇</p>	<p>×ホサヨホ×今夜彈藥全部核給出末サレバ高角砲機 銃砲彈ノミニテモ實施サレ度</p>	<p>〃</p>
<p>大 和</p>	<p>〇三三〇</p>	<p>各艦ハ速カニ整備員ヲ水上基地ニ派遣飛行機ノ急速整備 備ヲ實施シ本日中ニ使用スシ但受容能代整備員ハ</p>	<p>信 号 灯</p>
<p>高 雄</p>	<p>一〇〇七</p>	<p>總員基地派遣ノ儘トス派出標準有章ニ無章五各艦ハ 派出人員(受容能代名簿)報告提出スヘシ</p>	<p>〃</p>
<p>大 和</p>	<p>一三三五</p>	<p>御武運謹美ニ堪ヘス對空彈藥滿載セラレシヤ本艦ニ尚 多少讓リ仕得ベキ余檢了御希望ノ有無知ラサレ度</p>	<p>〃</p>
<p>妙 高</p>	<p>一五三五</p>	<p>YB信令特一五ニ妙高ハ左ニ依リ彈藥ヲ核給スヘシ 一主砲高角砲彈藥現有數約三分一先利根矢矧羽黒 ニ二十五粒機銃彈 25d = 三万發 108 = 一万發 ×ホヨホ×左ノ通彈藥供給ス</p>	<p>〃</p>
<p>通 常</p>	<p>〃</p>	<p>二〇機甲彈 二八〇 零式一〇 二式一五 照明彈 乙三五 通 常 彈 四三〇 照明彈 一三 本艦火藥管ニ裝填ノ儘</p>	<p>〃</p>





木	△ 妙	二日〇六五 〇二四 ×キヨキサ×ネヒ二四〇。飛、ネガニ一六五。飛、スキ六二五。飛 ×サエ×飛行機、右舷ニ財出準備シアリ	哨儀 手旗
"	△ 妙	二日〇六五 〇七四〇 ×キヨキサ×ネト六五〇(積減ニ)ネヒ二四。ネサニ七八二。飛 ×フヨサ×本日午前不用物件陸場、爲大發ラ陸上ニ濃煙遣ス	方向灯 手旗
"	△ 愛	一六三〇 一三五 ×キヨキサ×ネヒ二四〇。飛(積減ニ)ネサニ七七五。飛、スキ五 ×サエ×三型魚雷一個操舵室空氣漏洩使用不能ニ付八舷丸ニ移載	手旗 燈
"	△ 愛	二日〇六五 〇七〇八 一三〇。度方向ニ雷跡見ユ 一四〇。度方向ニ雷跡見ユ	旗 旗
"	△ 愛	二日〇六五 〇七〇八 一三〇。度方向ニ雷跡見ユ 一四〇。度方向ニ雷跡見ユ	旗 旗
"	△ 愛	二日〇六五 〇七〇八 一三〇。度方向ニ雷跡見ユ 一四〇。度方向ニ雷跡見ユ	旗 旗
"	△ 愛	二日〇六五 〇七〇八 一三〇。度方向ニ雷跡見ユ 一四〇。度方向ニ雷跡見ユ	旗 旗
"	△ 愛	二日〇六五 〇七〇八 一三〇。度方向ニ雷跡見ユ 一四〇。度方向ニ雷跡見ユ	旗 旗
"	△ 愛	二日〇六五 〇七〇八 一三〇。度方向ニ雷跡見ユ 一四〇。度方向ニ雷跡見ユ	旗 旗

(一) 改二ハ取扱調整極メテ容易精度良好ナリ  
 (二) 改二ハ取扱調整極メテ容易精度良好ナリ  
 (三) 改二ハ取扱調整極メテ容易精度良好ナリ  
 (四) 改二ハ取扱調整極メテ容易精度良好ナリ

〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃

戰果及被害

(1) 水上艦艇

(11) 特空母 一隻 撃沈

(12) 特空母 一隻 撃破 (大破)

(13) 乙 巡 一隻 撃破 (大破)

(14) 驅逐艦 一隻 撃沈 概不確實

(15) 航空機 一機 撃墜

(16) 大型機 一機 撃墜

本	高 雄	五〇三三五	終了ノ予定 尚老填ヲ要スルモアラハク刻速ニ持参サレ度	信号灯
	妙 高	一六〇〇	入カヨカ入有難ク對空彈若干讓リ受テ度 便ラ送ル	
	大 和	一六四五	入ホヨホ入貴艦ヨリ供給ノ主砲彈藥左ノ通り致シ度 徹 甲彈二六五發 三式彈若クハ零式彈 二五四發 計四一九發 入キヨキサ入利根ヨリ補給能力一時間一〇〇艦ナル所本艦ノ 入キ約一五八〇艦ニテ出撃十速ニ滿載困難ナリト認メヨル可然 取計ハレ度	
艦		三〇日五五	入カヨカ入ニ座接收作業終了ノ異状ナシ充填數計八五本	方向灯
		四七度方向ニ二〇MC 探知ス (感三) 一九二〇		

(1) 小型機八機 撃墜  
 (2) 小型機二十八機以上撃墜破  
 (3) 被害故障  
 船體

損傷部位	位	箇所	量	情	况
二番砲塔動力室	全般	室内大破燒損			
同 右彈庫	全般	室内注水一部破損塗具燃燒			
同 右火藥庫	全般	室内注水諸裝置一部變型			
二重底四ノ水防區	全般	船底錨繩緩(推定)依り漏水			
同 右四ノ五水防區	全般	二番砲塔火藥庫注水依り漏水			
左 舷バルヂ	五破孔	自二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通			
右 舷バルヂ	三破孔	自二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通			
飛行甲板右二回五番砲台	一	砲彈依り至二三番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通			
右舷外鉄三六番砲台水線上面	一	砲彈依り至二三番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通			
後甲板六番砲台舷側ヨリ	一	小型機機銃弾依り至二三番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通			
後甲板右三五番砲台舷側ヨリ	一	砲彈依り至二三番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通 至二三番砲台至四五番砲台間至近彈片及機銃彈貫通			
上甲板八番砲台諸倉庫	三	音彈上甲板右舷機銃揚彈筒ヨリ第一水雷料筒滑油庫ラム 第二水雷料筒滑油庫ラム 第三水雷料筒滑油庫ラム 第四水雷料筒滑油庫ラム 第五水雷料筒滑油庫ラム 第六水雷料筒滑油庫ラム 第七水雷料筒滑油庫ラム 第八水雷料筒滑油庫ラム 第九水雷料筒滑油庫ラム 第十水雷料筒滑油庫ラム 第十一水雷料筒滑油庫ラム 第十二水雷料筒滑油庫ラム 第十三水雷料筒滑油庫ラム 第十四水雷料筒滑油庫ラム 第十五水雷料筒滑油庫ラム 第十六水雷料筒滑油庫ラム 第十七水雷料筒滑油庫ラム 第十八水雷料筒滑油庫ラム 第十九水雷料筒滑油庫ラム 第二十水雷料筒滑油庫ラム			

砲術科

損傷部	位置	箇所又 数	損傷状況
小銃	彈藥庫	一	二ヶ所砲塔注水為漏米
上甲板以上甲板及構造物	約六。		機銃彈貫通
中甲板以上構造物	二九		彈片爆風ニ依リ破損
曳銃用ペンデント	二		彈索一條切斷ニ條鋼線ニ乃至四處四ヶ所切斷
飛行甲板軌條	一		軌條飛散
横付用五五〇鋼索	一		彈片ニ依リ切斷
デリッソク	一		上張索機銃彈ニ依リ斷線
眞水管	一		毒物檢査室内ニテ二米切斷
内火艇	一		爆風及機銃彈ニ依リ中破
ラッソク	一		機銃彈貫通小破孔多数
カッソク	一		同 右

二 兵器  
三 航海科

損傷部	位置	箇所又 数	損傷状況
八種高自双眼鏡遠鏡	一		機銃彈ニ依リ毀損
信號用六。地探照燈	四		機銃彈貫通
其ノ他諸兵器	三件		同 小破

展 張 成 中 線	(4) 通信科	二番二十糎砲塔	全般	大破燒損彈火藥庫注水
		十二、七糎高角砲	四	發砲通信電路切斷
		二十五糎單裝機銃	五	彈片及爆風=依り大破
		二十糎砲塔防熱板	全般	彈片爆風=依り破壊
		四五番二十糎砲身	四	彈痕(最深三。糎)
		其ノ他 諸兵器	二、三件	彈片機銃彈爆風=依り破壊
		豫備魚雷後部浮室	二	機銃彈=依り破孔
		二番聯管空氣回氣器減圧弁、附加計取付部	二	機銃彈=依り折損
		三番聯管斜進電路	一	機銃彈=依り斷線
		對舷移動用軌道	一	彈片=依り変形
舷外電路	二ヶ所	砲彈及至近彈=依り斷線		
三番聯管禁油房計排氣螺	一	機銃彈=依り破壊		
發射管空氣導管	五	同		
零式水中聽音器	一	系電彈=依り整流器及增幅器斷線		
其ノ他 諸兵器	二、三件	小破		
全部	機銃彈及爆風依り落下			

内務科

九三式四號防毒面	七回	被彈 燒損 浸水
九七式四號防毒面	一五	同
二番砲塔電氣装置及電路	全般	爆彈火炎依り大破燒損
四兵員室電路	五ヶ所	爆彈依り斷線 破損
五兵員室電路	五ヶ所	破彈依り斷線 破損
(ハ) 飛行科		
右舷射出機作動索	一	機銃彈依り斷線
滑走車(兩舷)	二	機銃彈 支横り貫通

(三) 人員

戰死 五十五名 (准士官以上 二名)  
 重傷 十三名  
 輕傷 六十二名 (准士官以上 三名)  
 五、我が兵力ノ現状

(イ) 特ニナシ

(ロ) 消耗彈數

二號二十糎砲九一式徹甲彈 五八二  
 同 零式通常彈 二一一



同 三式通常彈 六九

三七榴高角砲 四式彈藥包 四

同 通常彈藥包 九三〇

同 着色彈藥包 三二九

二十五糎機銃 通常彈藥包 三一四一一

同 曳跟彈藥包 一三三八四

同 徹甲彈藥包 一三一一三

消耗魚雷數 八本

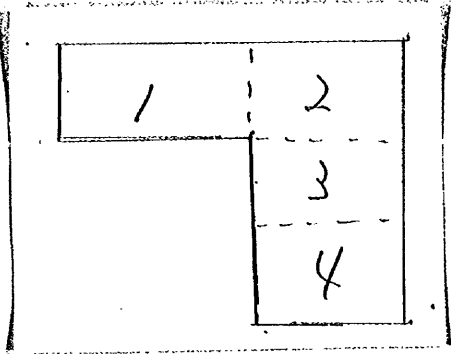
六、功績

二十四、五、六ノ三日間延一千機ヲ無ントスル執拗ナル敵機ノ來襲ニ際シテハ乘員一同勇戰奮闘遺憾無ク平素ノ手腕ヲ發揮シ甚大ナル被害ヲ敵ニ與ヘ之ヲ擊退セルノミナラス二十五日ノ水上戰鬥ニ於テハ逸早ク敵影ヲ發見友軍ニ通報シ常ニ全軍ノ先頭ニ立テ敵空母ニ肉薄攻撃前記ノ如キ戰果ヲ收メ得タリ

又二十四日妙高被害以來第五戰隊旗艦トシテ炸戰ニ從事セルノミナラスコブルネー歸着迄被害少ク唯一隻ノ大巡トシテ常ニ主隊ト行動ヲ共ニセルハ其ノ功績特ニ顯著ナリト認ム

七、戰訓

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判 以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>2 年 10 月 21 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 尾形 文夫 (印)</p>	

15  
65  
25d

35  
75

野分  
1700  
105  
120度方向=掃空見  
掃空母

170  
敵空母三隻其他約十隻  
南艦反転一飛行機奪取

15列  
58第10戦闘列  
0700敵Y逐次来

敵スコール入ル  
敵スコール入ル  
水戦後ヨリ行

Z戦機  
10

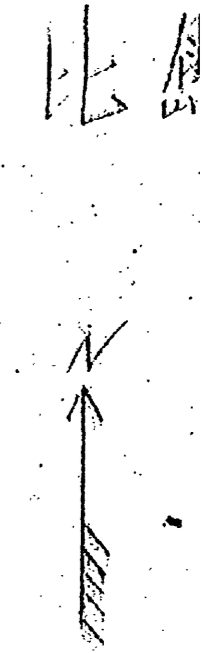
F/YB → 各隊全カキテア東

Z戦機  
40

45

50  
西東方向  
10度

0356



北東  
北西

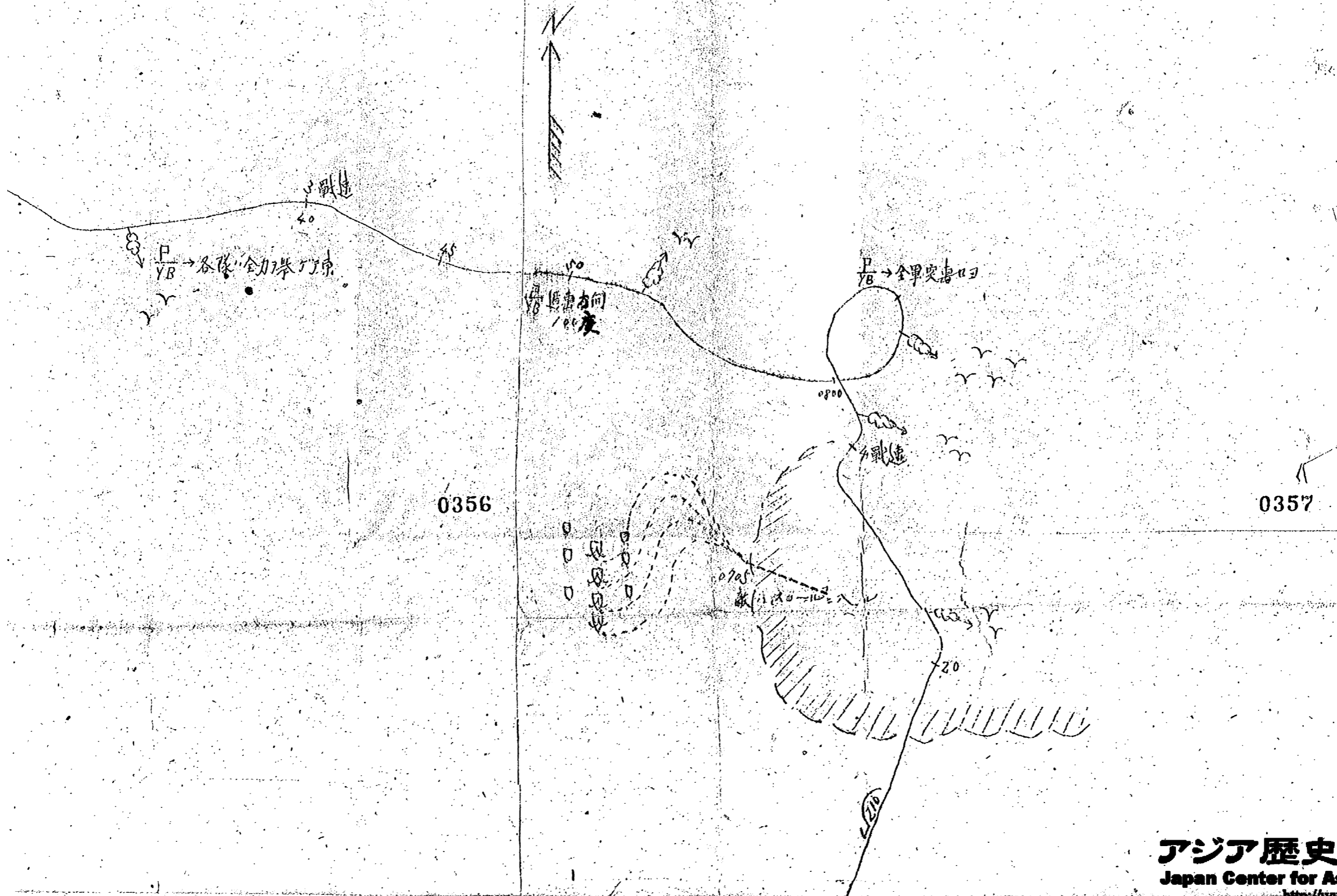
# 比島沖海戦合戦図

月10日25日0645

日10月25日1000

100.000

3



列  
10 戦斗 列  
0700 敵 Y 逐次 来 出

敵 スコール 入ル  
敵 スコール 入ル  
水 戦 後 行 行 日

之 戦 地  
10

P/YB → 各 隊 全 力 拳 闘 中

P/YB → 馬 車 向 度  
100

P/YB → 全 軍 突 撃 中

0356

敵 隊 列

敵 スコール 入ル

4 戦 地

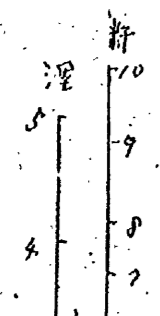
20

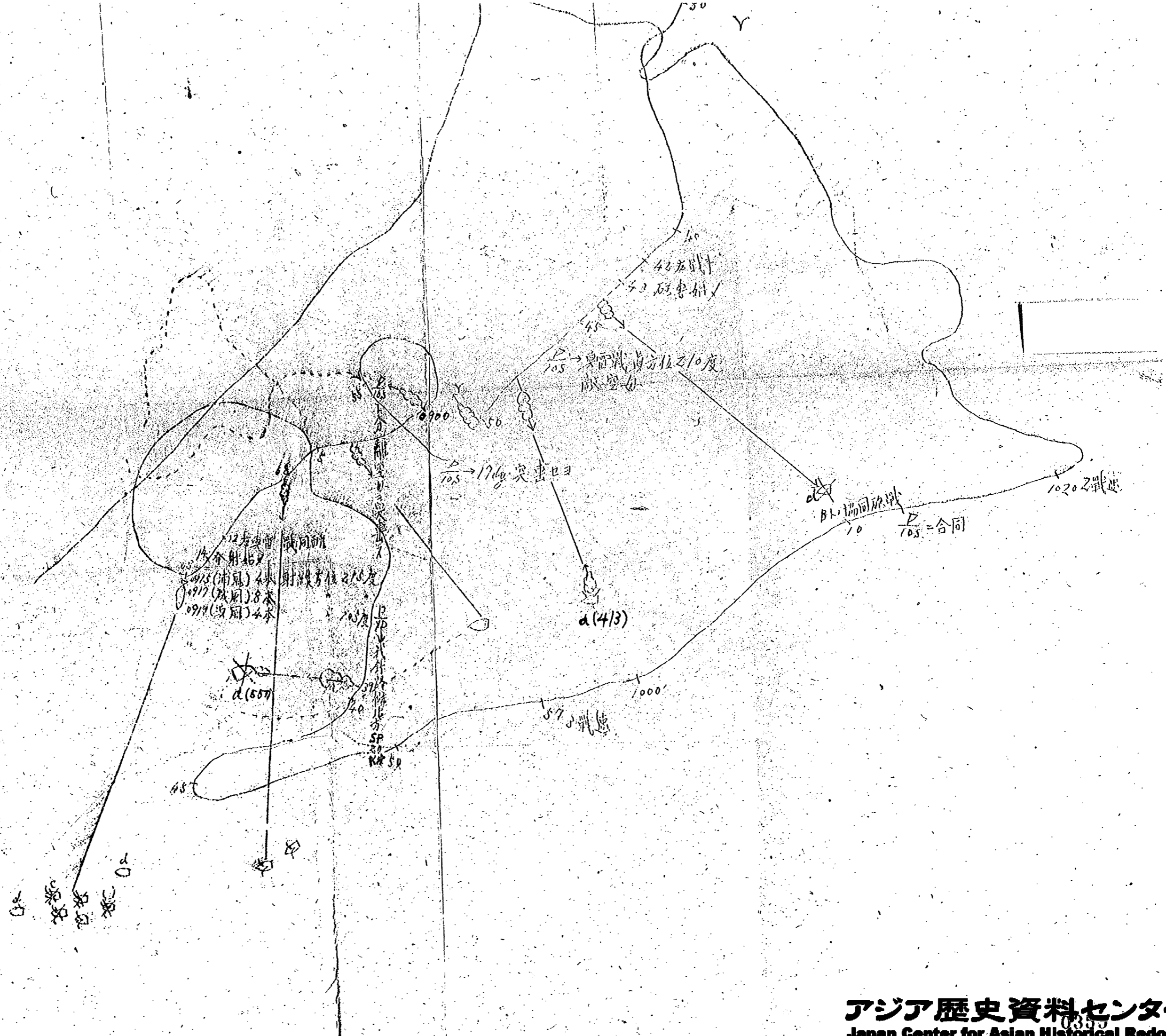
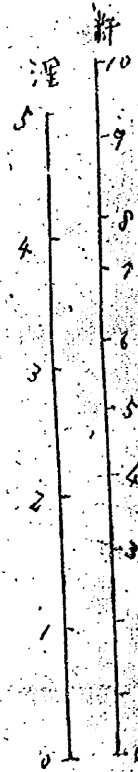
敵 隊 列

30

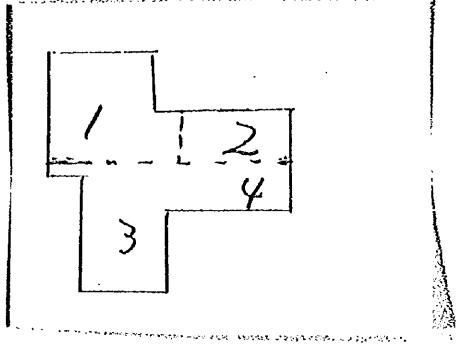
40 戦 地  
40 戦 地

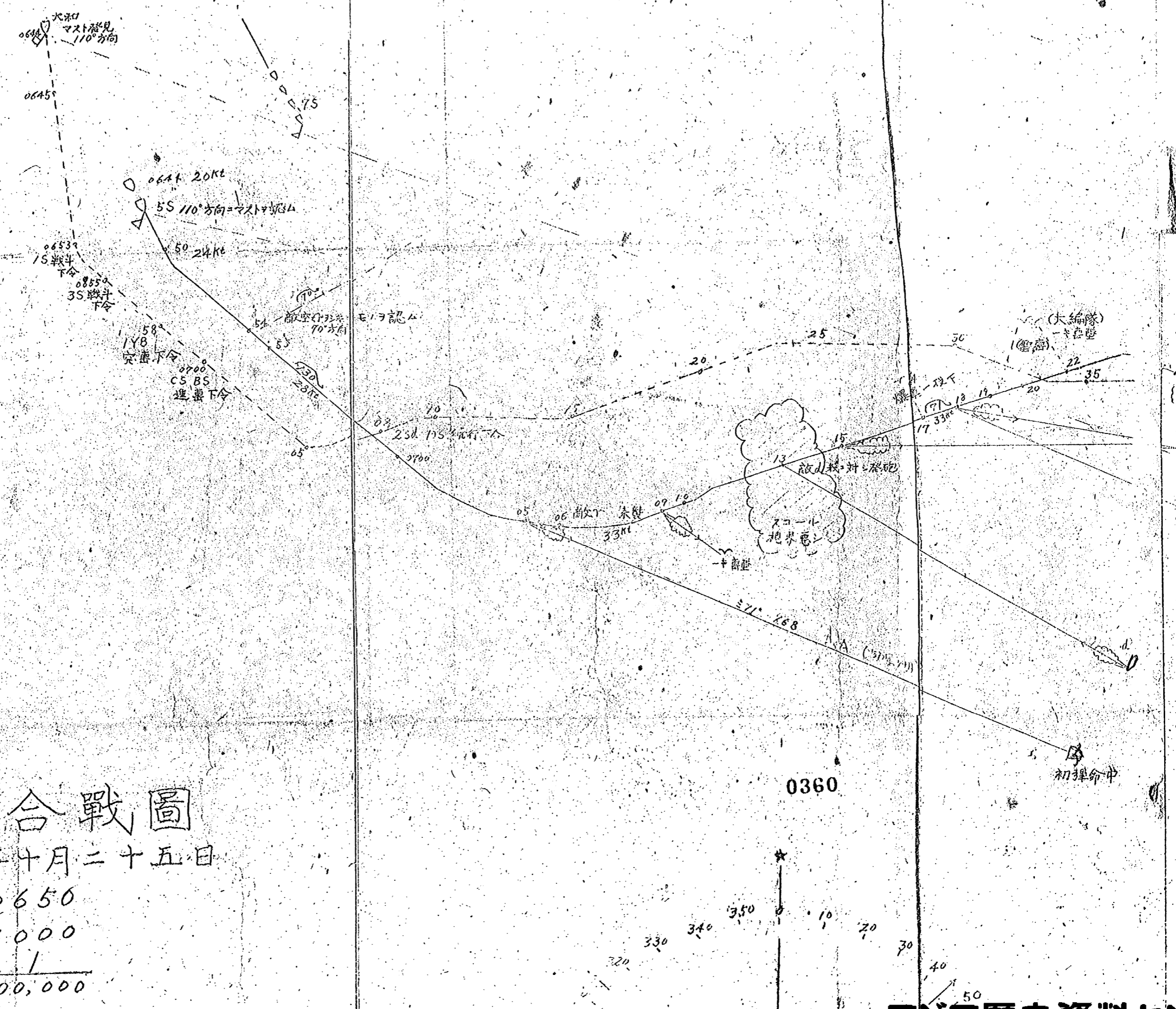
P/YB → 突 撃 戦 闘 中 敵 隊 列 10 度





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判 以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する  2 年 12 月 21 日  主務者又は 撮影立会者 尾形 文夫 (印)	



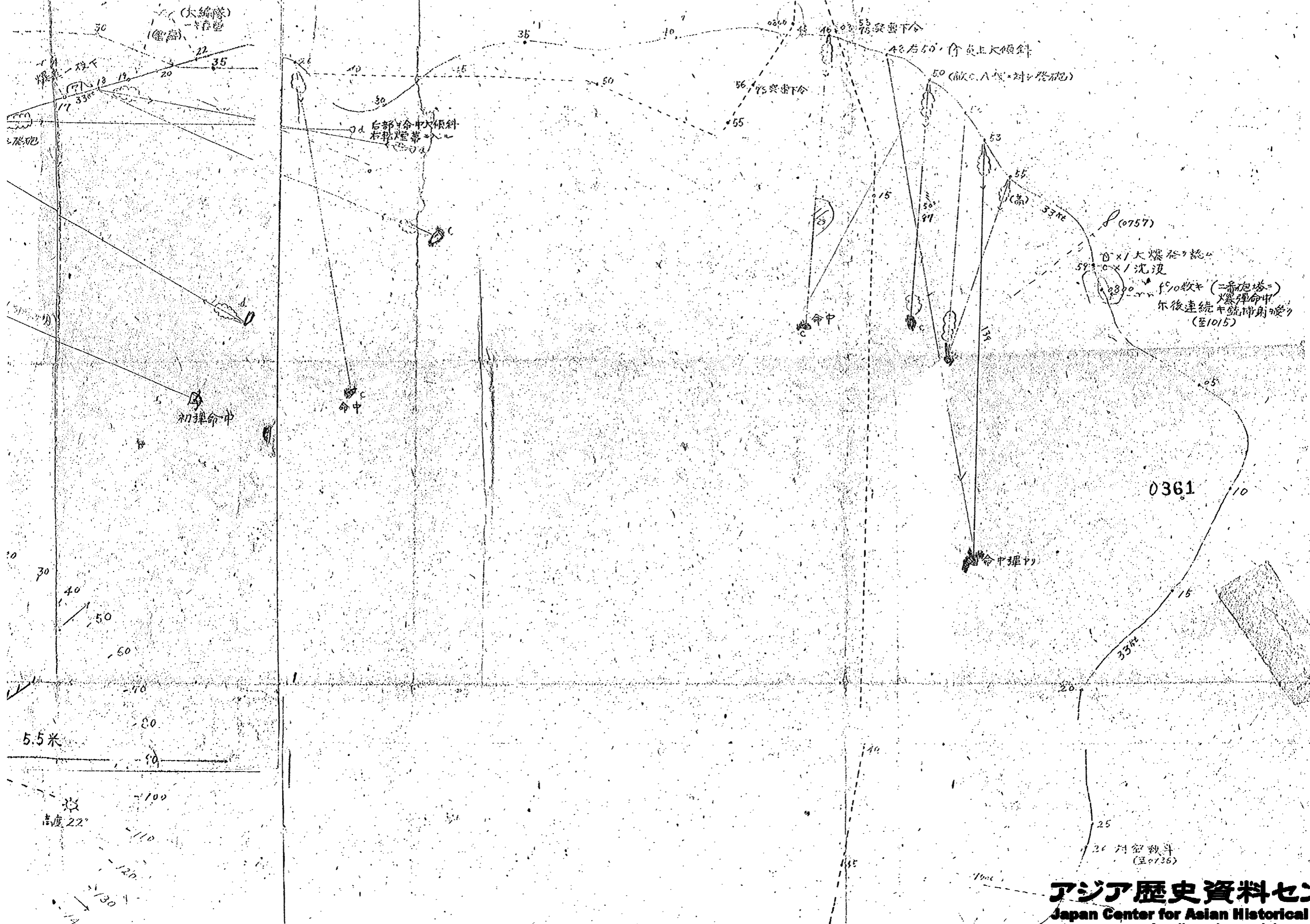
軍艦羽黒合戦圖

昭和十九年十月二十五日

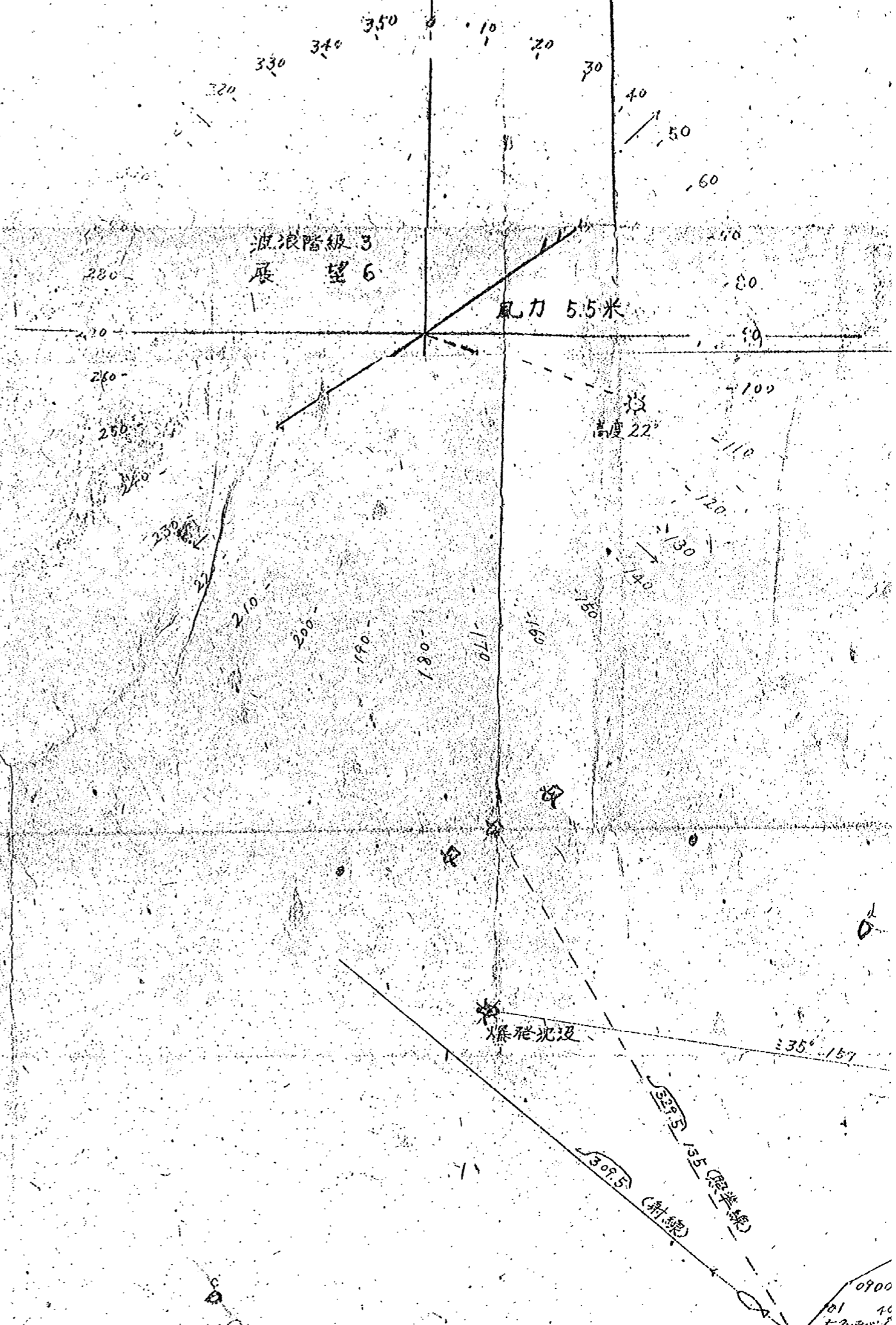
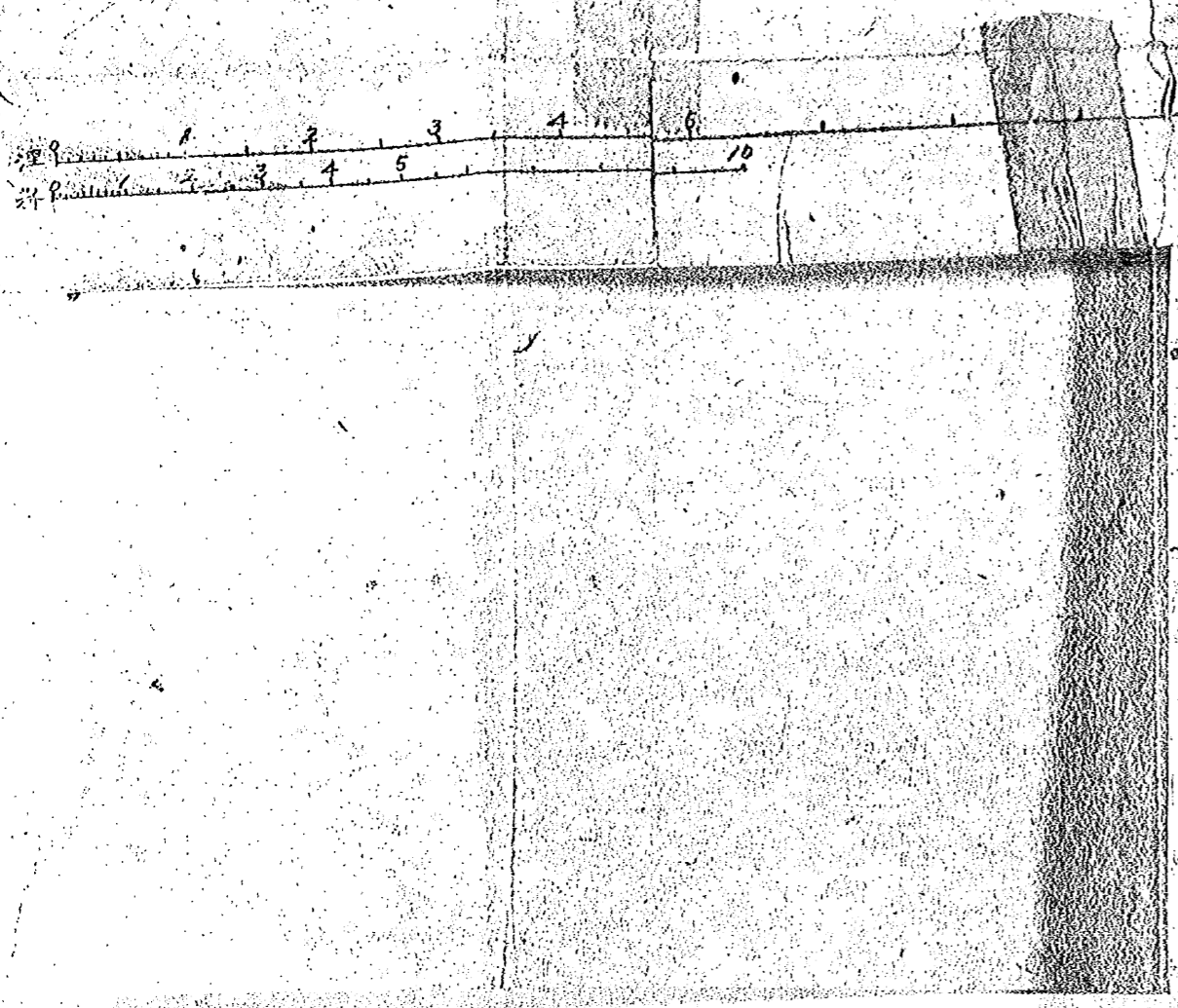
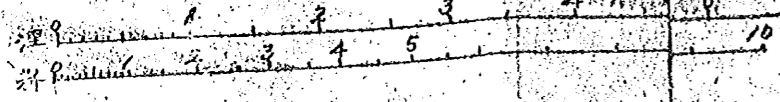
自 0650  
至 1000

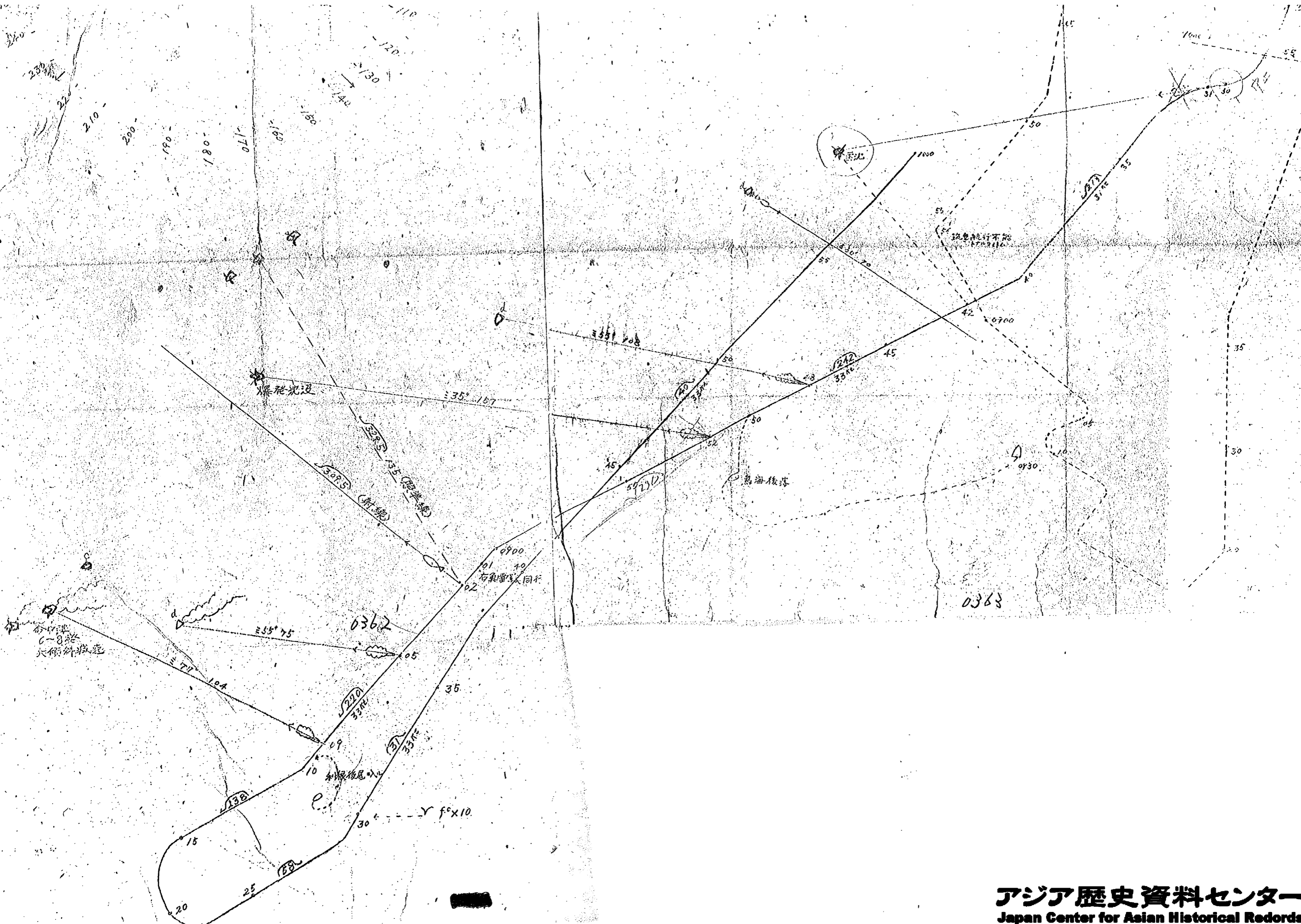
縮尺 1/100,000



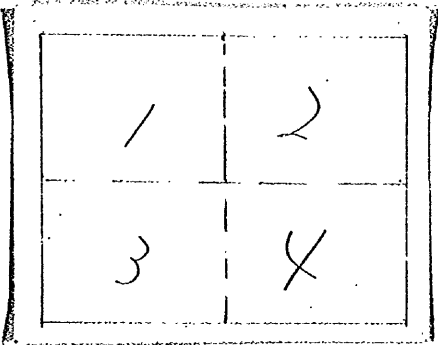


自 0650  
至 1000  
縮尺 1/100,000





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判 以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>2 年 12 月 21 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 尾形文夫 (印)</p>	

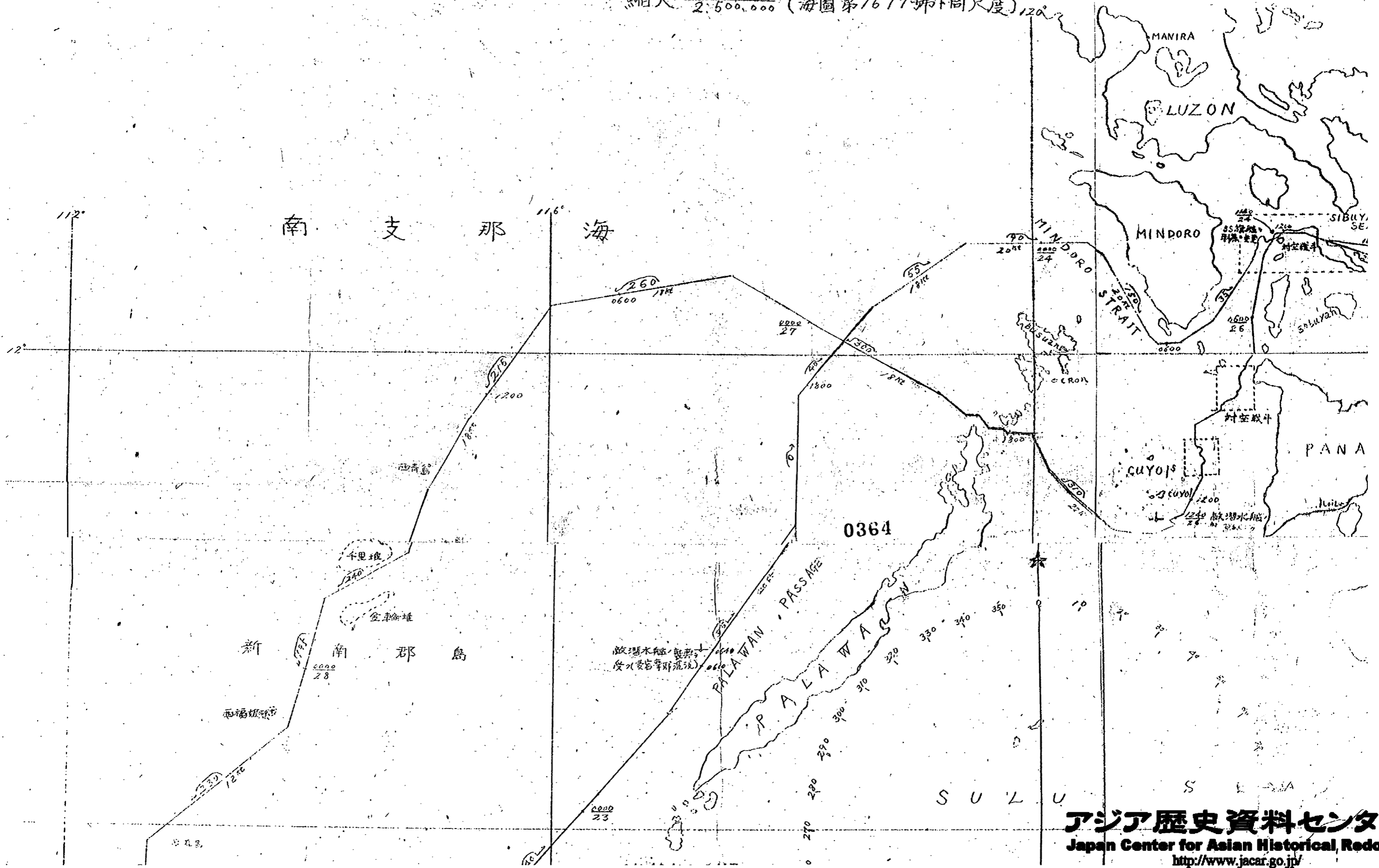
# 軍艦羽黒行動圖

自昭和十九年十月二十二日 0800

至同 年十月二十八日 2150

總航程 2740 哩

縮尺  $\frac{1}{2,500,000}$  (海圖第1677號同尺度)





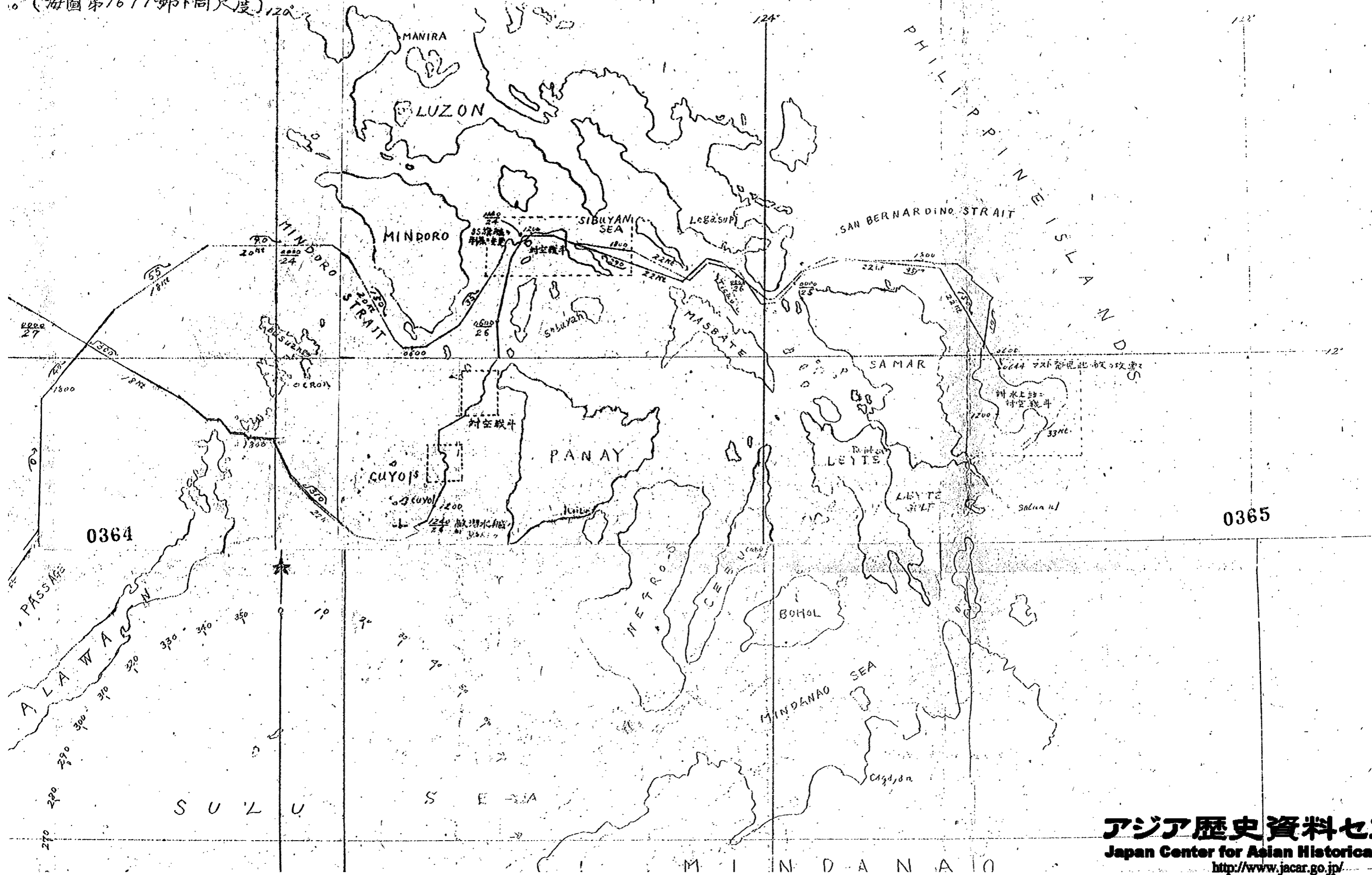
二十月二十二日 0800

二十月二十八日 2150

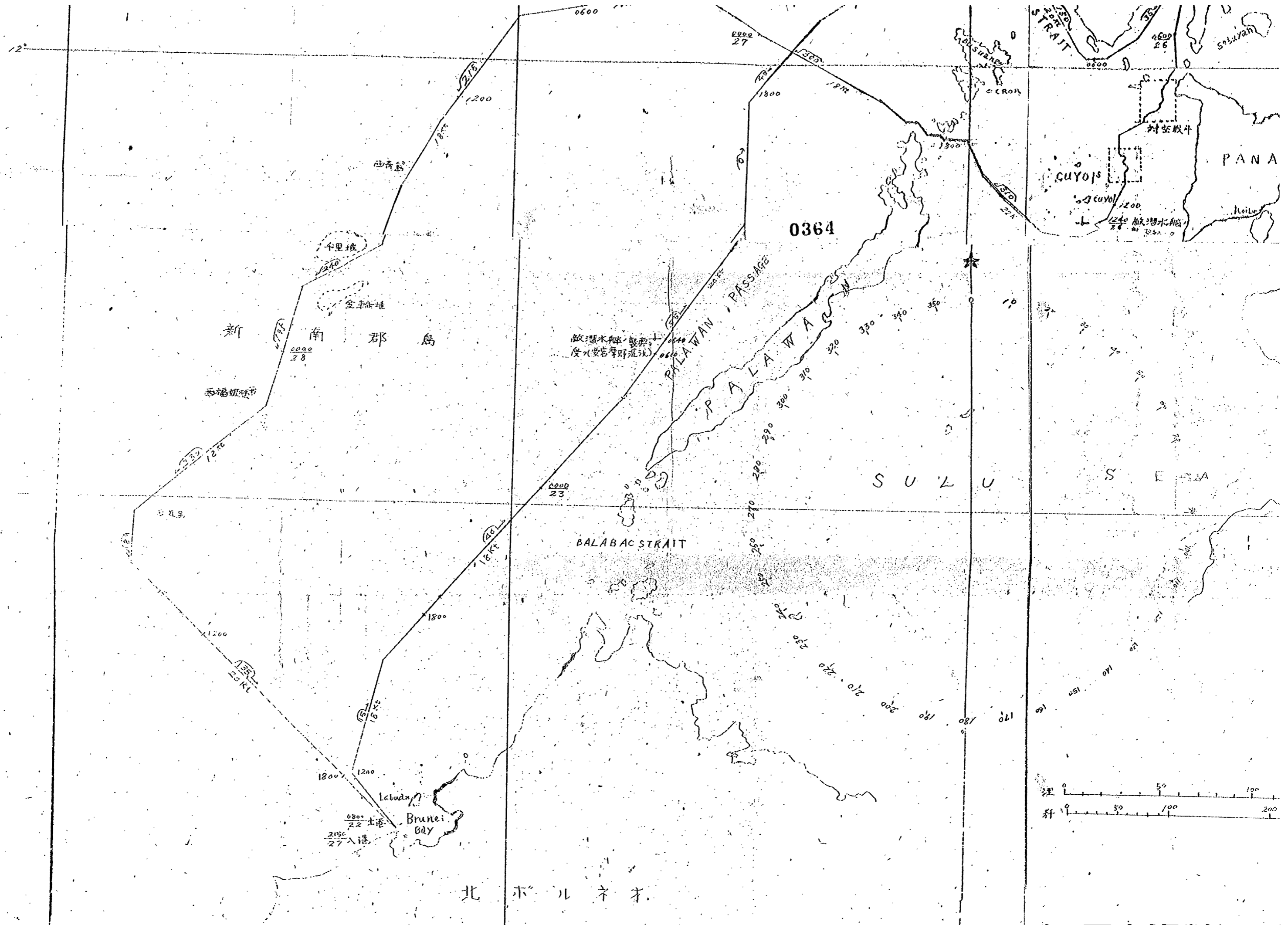
2740 哩

。(海圖第1677號同尺度)

5

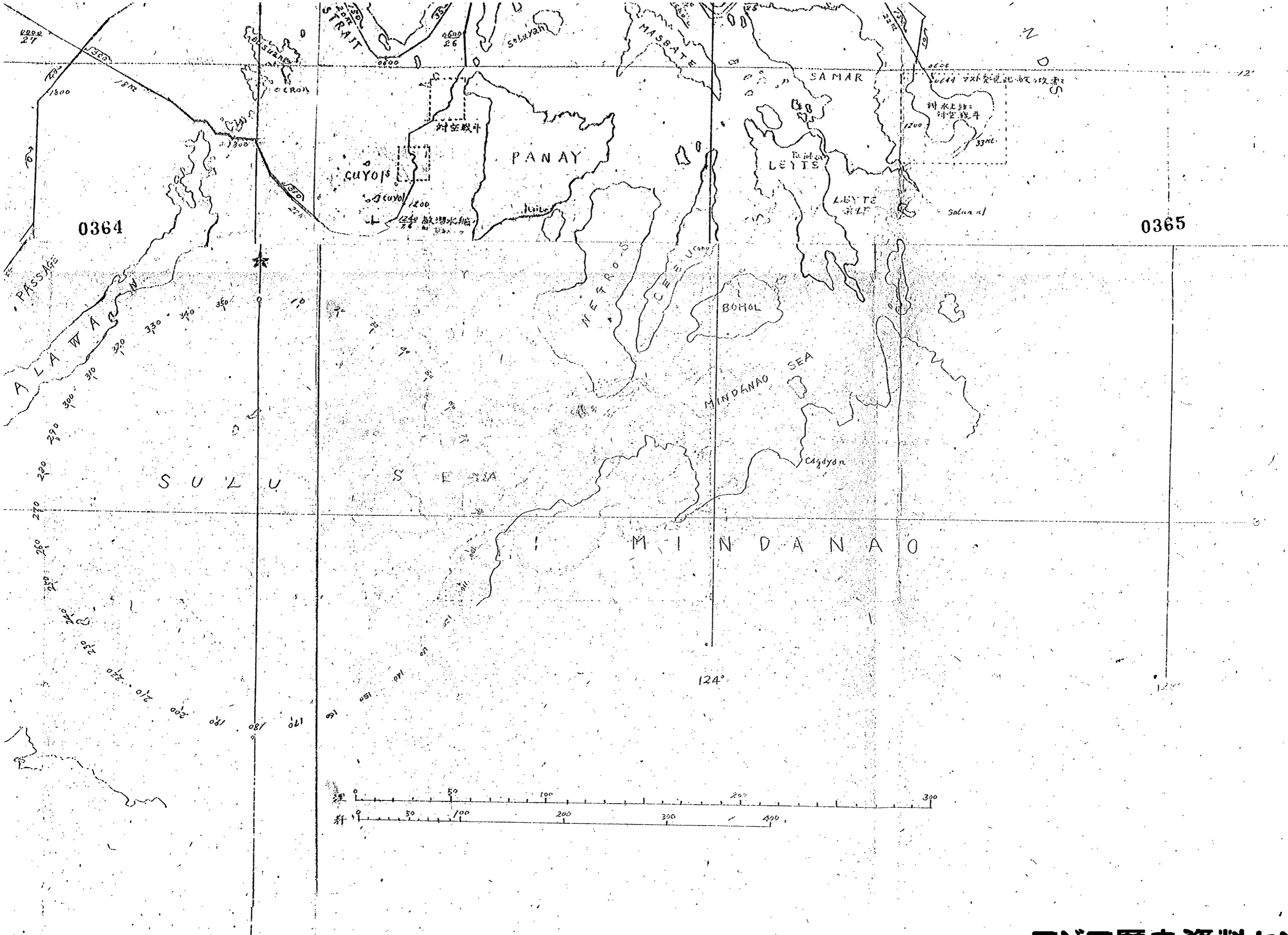






0364

0366



0366



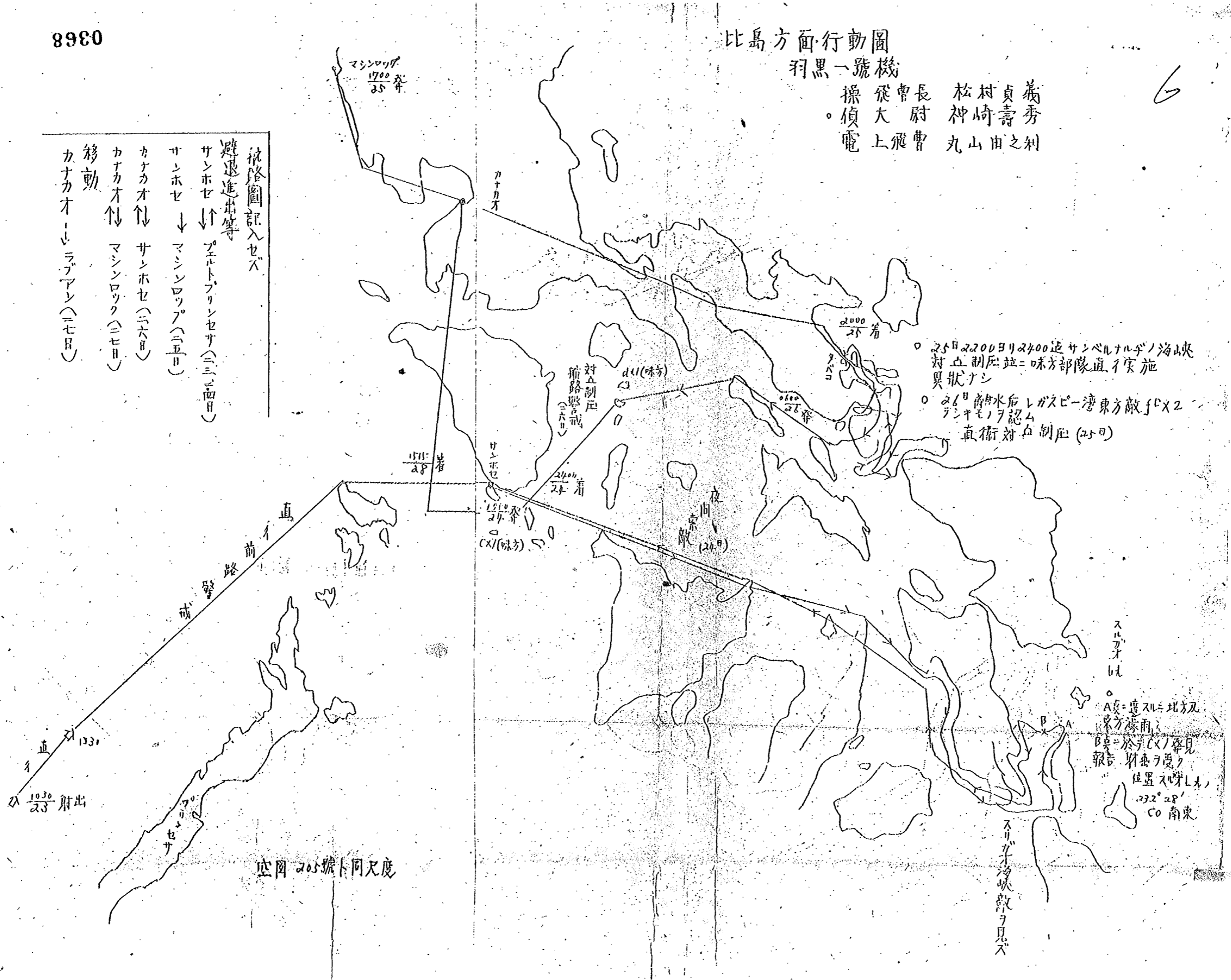
比島方面行動圖

羽黒一號機

松村貞壽  
 神崎壽之利  
 丸山由之利  
 長尉 曹飛  
 大尉 曹飛  
 操偵電

6

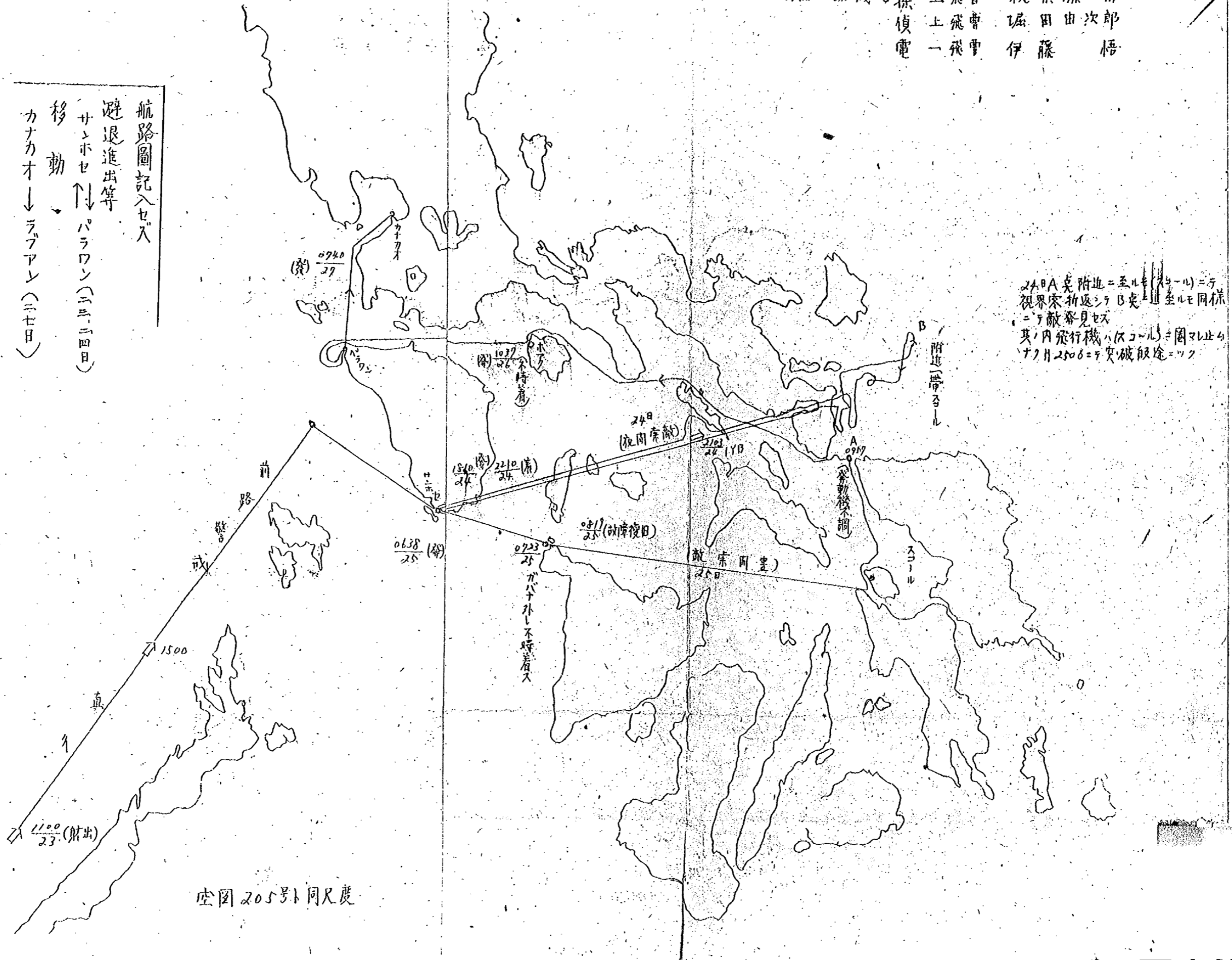
鐵路部入セス  
 避退進出等  
 サンホセ ↓ ↑ プルトプリンセサ(三三〇四日)  
 サンホセ ↓ マシンロッパ(二五〇日)  
 カナカオ ↓ サンホセ(二六日)  
 カナカオ ↓ マシンロック(二七〇日)  
 移動  
 カナカオ ↓ ラブマン(二七日)



比島方面行動圖  
羽黒 = 跡機

操復電  
上飛曹  
飛飛曹  
一飛曹  
秋葉源五郎  
城田由次郎  
伊藤 梧

航路圖記入セ入  
避退進出等  
サノホセ ↑ ↓ パラワン (二三、三四日)  
移動  
カナカオ ↓ ラフアン (二七日)



24日A島附近ニ至ルモ(スコール)ニテ  
視界索物返シラB島ニ至ルモ同様  
ニテ敵機発見セズ  
其ノ内飛行機ハ(スコール)ニ因マレ止メ  
ナクハ2506ニテ突破敵途ニツク

空図205号ト同尺度